

特別講義プログラム

藤野ゆかり氏特別講義

1. 日 時： 2023年 10月 31日(火) 11:15 ~16:45
2. 場 所： 2限・3限 F434 4限 F111
3. 対象学生(必修)： 2限 ピアノ演奏法BI・B II受講生、グループレッスン指導法受講生
3限 ピアノ演奏法(短大)受講生 4限 ピアノ音楽研究(短大)受講生
4. 講 師 紹 介： 藤野ゆかり 氏

※学内関係者聴講可、2・3限のみ他聴講可

大阪音楽大学ピアノ科卒業後、安田信子、山崎孝、中野慶理、アンリエット・プイグ=ロジエ、ユージン・インジック各氏、著名なピアニストのもとで研鑽を積む。ニースのインターナショナル・アカデミーでジャン・ファシナとピエール・サンカンにその才能を見出され、1990年に日本での活動を中断し、パリでジャン・ファシナのもとで精力的に奏法を学ぶことを決意し来仏。1990年から2004年まで集中的にファシナ奏法を修得する。同時に、パリ・エコール・ノルマル音楽院の審査員から満場一致で室内楽演奏高等ディプロマを取得した。ジャン・ファシナは彼女を「彼の精神的な娘」とみなし、「藤野ゆかり氏はその並外れた真の才能、生き生きとした繊細な知性で私を会心させる。常に音楽芸術の理解を深め、高みへと向かっている。彼女は音楽的知性と優れたピアノテクニックを持ち合わせており、数多くのリサイタルを通して、素晴らしい音楽のアンバサダーであることを証明した。」と証言した。イタリア、ベルギー、スイス、スペイン、ドイツ、日本、セネガルなど、フランス国内外の舞台で演奏し、ラジオやテレビなどの放送に出演。1996年よりイヴリー・シュル・セーヌ音楽院で教鞭をとる。ジャン・ファシナは藤野ゆかり氏の教育者としての能力を全面的に支持、ファシナ奏法を余すことなく伝えることが出来ると公式に認定し、2020年にエコール・ジャン・ファシナの校長に就任した。

5. 講 義 概 要：

公開講座【F434】 11:15~12:45
「本物の音を引き出すピアノ基礎の導入〈ジャン・ファシナのピアノ科学 -耳と心と体を繋ぐために〉」

公開レッスン
【3限F434教室】

13:30~14:15 松浦未有(大学3年ピアノコース)
ショパン：ロンド ハ長調 Op.73

14:15~15:00 丸山泉美(大学3年ピアノコース)
カール・ヴァイン：ピアノ・ソナタ第1番 第1楽章

4限【F111教室】

15:15~16:00 今井莉央(短大1年ピアノコース)
ショパン：スケルツオ第2番 変ロ短調 op.31

16:00~16:45 千葉舞雪(短大2年ピアノコース)
リスト：超絶技巧練習曲第12曲 S.139/12 R.2b「雪あらし」変ロ短調